

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公表番号】特表2008-530716(P2008-530716A)

【公表日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2007-556381(P2007-556381)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 1 8 A

G 06 F 12/00 5 3 1 D

G 06 F 12/00 5 3 3 J

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月27日(2009.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データベースシステムにおいて報告トランザクションを処理する方法であって、データベースのスナップショットを取得することを備え、前記データベースはプライマリノードおよびフェイルオーバノードにリンクされ、前記方法はさらに、前記プライマリノードで1つ以上の非報告トランザクションを実行することと、前記プライマリノードで前記1つ以上の非報告トランザクションを実行するのと同時に前記フェイルオーバノードで報告トランザクションを実行するために前記スナップショットを利用することとを備え、前記報告トランザクションは、同期して複製されたデータに依存することなく実行される、方法。

【請求項2】

前記フェイルオーバノードで1つ以上の一時的なテーブルを作成することをさらに備え、前記1つ以上の一時的なテーブルは、前記報告トランザクションが前記フェイルオーバノードで実行されるときに使用される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記1つ以上の一時的なテーブルは、前記報告トランザクションにおけるクエリスクリプトを通じて作成される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記1つ以上の一時的なテーブルのうち少なくとも1つは、前記報告トランザクションにおける2つ以上のクエリにアクセス可能である、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記データベースにおける1つ以上のスキーマを修正することをさらに備え、前記1つ以上のスキーマは、前記報告トランザクションが前記フェイルオーバノードで実行されるときに使用される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記1つ以上のスキーマは、前記プライマリノードで実行する前記1つ以上の非報告トランザクションにアクセス可能ではない、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記 1 つ以上のスキーマのうち少なくとも 1 つは 1 つ以上のテーブルを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記プライマリノードで 1 つ以上のユーザ定義プロシージャにアクセスすることをさらに備え、前記 1 つ以上のユーザ定義プロシージャは、前記報告トランザクションが前記フェイルオーバノードで実行されるときに使用される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記データベースに一時的なスペースを確保することをさらに備え、前記一時的なスペースは、前記報告トランザクションが前記フェイルオーバノードで実行されるときに使用される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記プライマリノードおよび前記フェイルオーバノードはクラスタの一部である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記クラスタは 1 つ以上のさらなるフェイルオーバノードを含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記 1 つ以上の非報告トランザクションのうち少なくとも 1 つはリード・ライトトランザクションである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記報告トランザクションおよび前記 1 つ以上の非報告トランザクションはワーカーノードの一部である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記報告トランザクションはリアルタイムに近い報告を与える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

前記プライマリノードのみが前記データベースを修正できる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

前記スナップショットはユーザコマンドに応答して取得される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記スナップショットはリード・オンリである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

前記スナップショットは前記プライマリノードによって修正されることがない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 19】

前記スナップショットおよび前記データベースはディスクスペースを共有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】

前記スナップショットは最新のものである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 21】

前記スナップショットは、前記フェイルオーバノードで前記報告トランザクションを実行するために直接に使用される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 22】

コンピュータ可読媒体を含むコンピュータプログラム製品であって、前記コンピュータ可読媒体は、プロセッサによって実行されると、データベースシステムにおいて報告トランザクションを処理するためのプロセスを前記プロセッサに実行させる命令を備え、前記プロセスは、

データベースのスナップショットを取得することを備え、前記データベースはプライマリノードおよびフェイルオーバノードにリンクされ、前記プロセスはさらに、

前記プライマリノードで1つ以上の非報告トランザクションを実行することと、
前記プライマリノードで前記1つ以上の非報告トランザクションを実行するのと同時に
前記フェイルオーバノードで報告トランザクションを実行するために前記スナップショットを利用することとを備え、前記報告トランザクションは、同期して複製されたデータに依存することなく実行される、コンピュータプログラム製品。

【請求項23】

データベースシステムにおいて報告トランザクションを処理するためのシステムであつて、

データベースのスナップショットを取得するための手段を備え、前記データベースはプライマリノードおよびフェイルオーバノードにリンクされ、前記システムはさらに、

前記プライマリノードで1つ以上の非報告トランザクションを実行するための手段と、
前記プライマリノードで前記1つ以上の非報告トランザクションを実行するのと同時に

前記フェイルオーバノードで報告トランザクションを実行するために前記スナップショットを利用するための手段とを備え、前記報告トランザクションは、同期して複製されたデータに依存することなく実行される、システム。